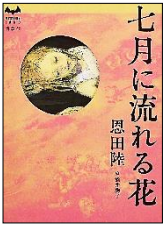
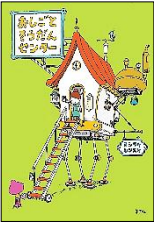
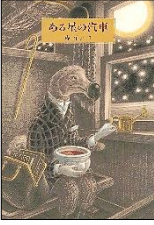
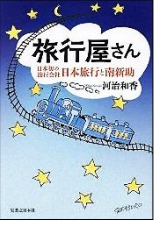


中学生・高校生(YA)向け 司書からの 夏の おすすめ本 2026 南草津図書館 		『だいじな本のみつけ方』 大崎 梢／著 光文社 913.6 才  中学2年の野々香は、放課後の校内で来週発売予定の大好きな作家の最新刊をみつける。図書委員の秀臣と本の持ち主を捜し始めた彼女を待っていたのは、思いもしない真相と、たくさんのだいじな出会いだった。	『七月に流れる花』 恩田 陸／著 講談社 913.6 才  終業式の帰り道、ミチルは「夏流城での林間学校に参加しなければなりません」と書かれた手紙を受け取る。鞆一つに夏休みの宿題だけを詰めて集まった6人の少女の奇妙な共同生活。その目的とは何なのか。	『やなやつ改造計画』 吉野 方理子／著 あすなろ書房 913.6 才  生徒会長に立候補することを決めた光也は、友人たちの助言で、選挙に勝つために「いい人」を目指すことに。手本となる人物を探すうち、光也は理想のリーダーとはどんな人なのだろうかと考えはじめる。
『夏のカルテット』 眞島 めいり／著 PHP研究所 913.6 マ  図書委員の当番で同じ班になった典、幹、夏野、佐々矢の4人は、夏休みにグループ研究で曲を作るためにバンドを組んだ。協力して課題を完成させた4人だったが、幹がグループを抜けると言い出してしまう。	『おしごとそうだんセンター』 ヨシタケ シンスケ／著 集英社 726.6  地球に不時着した宇宙人は、ひとまず仕事をみつけた方がいいと言われおしごとそうだんセンターへ向かう。この星では必要なことらしいけど、仕事ってなんだろう？相談係のお姉さんと一緒に考えてみたよ。	『印度カーリー子のカレーとスパイスのひみつ』 印度カーリー子／著 金の星社 596  「スパイスこそがカレーたらしめる」という呪文のような言葉に導かれ、さとりは夏休みにスパイスを研究することになった。合言葉は、タ・ク・コ。さとりが作ったスパイスチキンカレーのレシピも載っている。	『透明なルール』 佐藤 いつ子／著 KADOKAWA 913.6 才  周りからどう思われるかばかりを気にしていた優希。学校に潜む同調圧力に苦しさを感じながらも合わせ続けていた。しかし、それは自分自身が作った「透明なルール」に縛られていただけなのだと気付いていく。	『N/A』 年森 瑛／著 文藝春秋 913.6 ト  高校2年生のまどかは、年上のうみちゃんと付き合って3カ月目。でも、本当にほしいのは恋人ではなくて、「ぐりとぐら」や「がまくんとかえるくん」のようなかけがえのない他人なんだ。
『キミの一步イタリア』 佐藤 まどか／文 あかね書房 372.37  君がいつか海外で暮らすことを夢見ているなら、手に取ってほしい。若くしてイタリアに留学し、仕事、結婚、子育てを経験した著者が、娘の成長を通して、海外で暮らす大変さとそれに勝る楽しさを教えてくれる。	『図書室のはこぶね』 名取 佐和子／著 実業之日本社 913.6 才  高3の花音は、怪我で体育祭に参加できない代わりに図書当番を引き受けた。図書室の掃除中に本の間から体育祭に関する意味深な暗号メモを発見し、好奇心を掻き立てられた花音は、暗号の謎を解こうとする。	『氷菓』 米澤 穂信／著 KADOKAWA 913.6 才  折木奉太郎は、古典部で出会った好奇心旺盛な仲間頼まれて、高校生活に潜む謎を解き明かしていく。いくつかの謎を追いかけるうちに、古典部の文集には33年前のある真実が秘められていることに気付く。	『絵画をみる、絵画をなおす 保存修復の世界』 田口 かおり／著 偕成社 724.9  著者は、絵画などの美術作品をなおす修復家です。修復で一番大切なのは、元の状態に戻すことではなく、作品を観察すること。観察で何が見えてくると思いますか？プロの仕事と保存修理の裏側を紹介します。	『ぶたのしっぽ』 海緒 裕／作 講談社 913.6 才  中2の豪太郎の趣味は編みぐるみ作り。男らしくないと言われるのが怖くて隠している。そんなとき不登校でヤングケアラーの篠田と職場体験で一緒になる。篠田と話すうちに豪太郎は、普通とは何か疑問を持つ。
『解きたくなる数学』 佐藤 雅彦／ほか著 岩波書店 410  数学が苦手な人にとって、まずは問題を理解することが第一の壁です。この問題集は、ひと目見れば内容を理解できて、さらに思わず解きたくなる仕掛けが満載です。数学の面白さをぜひ体感してください。	『淡海妖怪拾遺』 杉原 正樹／著 サンライズ出版 388.161  滋賀県には、河童や天狗のようなメジャーな妖怪から、三井寺の鉄鼠や東近江市のガオーさんといった固有の妖怪まで、数多くの伝説がある。滋賀県に関する本や祭りの中に伝わる、妖怪たちの姿を紹介する。	『ある星の汽車』 森 洋子／著 福音館書店 E7  汽車にはいろんな動物が乗っていた。しばらくすると「1681」という駅で止まり「モーリシャスドードー」という動物が降りていった。その後も駅に止まるたび、降りていく。乗ってくる動物はいるのだろうか。	『その話、諸説あります。』 ナショナルジオグラフィック／編 日経ナショナルジオグラフィック社 049  『諸説』とは、さまざまな意見や学説、うわさなどのこと。ダ・ヴィンチが描いた『モナ・リザ』のモデルは誰なのか、宇宙人は存在するのかなど、研究者も悩む24の問いと、102の諸説を見てみよう。	『旅行屋さん』 河治 和香／著 実業之日本社 913.6 才  明治時代に鉄道が通り、死ぬまでに一度、お伊勢さんへ行きたいという人たちが増えた。その旅の世話をしたのが、滋賀県草津村の村長の息子、南新助である。日本で初めての団体旅行だった。